

**第2次南アルプス市総合計画  
後期基本計画・施策マネジメントシート**

政策No.	4	政策名	心豊かな人と文化をはぐむまちの形成	施策主管課	教育総務課
施策No.	29	施策名	学校施設の整備	施策主管課長名	小池 肇
施策関連課名		学校教育課			

**1 施策の目的と指標**

(1)対象(誰、何を対象としているのか) ※人や自然資源等	市立小中学校の児童生徒	➡	(3)対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
			A	市立小中学校の児童数	人
(2)意図(この施策によって対象をどう変えるのか)	安全・安心、快適な環境の中で学び、生活できる	➡	(4)成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
			①	学校には教育活動に適した施設・設備が整っていると感じる保護者の割合	%
成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由)	①	学校施設整備への保護者の評価を示す/小中学校に安全・安心、快適な施設・設備が整っていれば、児童生徒の保護者の学校施設・設備に対する評価が向上すると考え、成果指標とした。	②	教育施設長寿命化基本計画の第1次実施計画で整備対象とした学校施設・設備の整備率	%
	②	学校施設整備の進捗状況を示す/本市では、学校施設の老朽化が課題となっており、これを踏まえて教育施設長寿命化基本計画及び実施計画を策定する。この計画どおり学校施設等の整備が進めば、児童生徒が安全・安心、快適な環境の中で学び生活できると考え、成果指標とした。	③		
	③		④		
	④				
成果指標の測定方法 (どのように実績値を把握するか)	①	学校評価アンケート『学校には教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか』において、「そう思う」「まあそう思う」と回答した保護者の割合	②	教育施設長寿命化基本計画の第1次実施計画で整備対象とした学校施設等について、年度ごとに完了した設計・監理・工事などの整備に関する業務の数を求め(継続事業の場合は年度ごとに1件として加算)、その累計を第1次実施計画における業務の合計で割った値	
	②		③		
	③		④		
	④				

**2 指標等の推移**

指標名	単位	数値区分	前期基本計画					後期基本計画				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
対象指標 A 市立小中学校の児童数	人	見込み値					3,775	3,729	3,660	3,577	3,494	3,461
		実績値	4,298	4,182	4,042	3,892	3,775					
対象指標 B 市立中学校の生徒数	人	見込み値					2,142	2,057	2,013	1,978	1,965	1,870
		実績値	2,299	2,267	2,204	2,175	2,142					
対象指標 C 学校施設数	校	見込み値					22	22	22	22	22	22
		実績値	22	22	22	22	22					
成果指標 ① 学校には教育活動に適した施設・設備が整っていると感じる保護者の割合	%	目標値	-	-	-	-	-	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
		実績値	-	-	92.0	92.0	90.6					
成果指標 ② 教育施設長寿命化基本計画の第1次実施計画で整備対象とした学校施設・設備の整備率	%	目標値	-	-	-	-	-	38.3	59.6	68.1	83.0	100.0
		実績値	-	-	-	-	-					
目標設定の考え方・理由(可能性と必然性)												
①	大規模改修などの工事を実施すれば整備した学校の肯定回答の割合は向上するが、逆に工事期間中は低下する。また教室にエアコンを設置すれば一時的には肯定回答の割合は向上するが、数年でその恩恵が薄れてくる。学校施設の老朽化は日々進行しており肯定回答の割合に大きく影響する。これらの変動要因を総合的に検討した結果、現状の数値を維持していくことを目標とした。											
②	教育施設長寿命化基本計画の第1次実施計画に掲げた施設整備が予定どおり進捗すると仮定して、その整備率を目標とした。											
③												
④												

**3 施策の役割分担**

①市民(市民、事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)	②行政(市、県、国)の役割(協働を進めるため市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者(地域住民):軽作業などPTA活動等とおして施設の維持管理に貢献、教育環境の改善等を市教育委員会へ要望</li> <li>○児童生徒:日常清掃等とおして施設を大切に扱う心をはぐくみ、児童生徒自ら清潔で快適な生活環境をつくる</li> <li>○市教育委員会、学校、保護者(地域住民)、児童生徒が協働して学校施設の適正な維持管理を実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国:小中学校施設整備指針(整備の基本方針・留意事項等)の策定と周知、公立小中学校の施設整備に要する経費の一部を負担(国庫補助制度)</li> <li>○県:市町村の公立小中学校建築計画(6月・11月)の取りまとめと国への提出、事業実施にかかる国と市町村との調整</li> <li>○教育委員会:法定点検の実施と適法な状態に維持(建築基準法、消防法)、教育施設長寿命化計画の策定と計画的な事業実施</li> <li>○学校:日常点検の実施と維持(学校衛生法)、教育環境の改善及び改修等を市教育委員会へ要望</li> </ul>

**4 施策の状況変化・住民意見等**

①施策を取り巻く状況変化(対象や根拠法令等は、今後(～R3年度末を見越して)どのように変化するか?)	②関係者からの意見・要望(この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○老朽化対策:改築中心から長寿命化へ整備手法の転換、教育施設長寿命化計画に基づくメンテナンスサイクルの確立</li> <li>○人口減少の影響:児童生徒の減少・学校の小規模化の進行、学校施設の適正規模・配置の意識の高まり</li> <li>○知事・市長の公約:25人学級の実現(知事)、小中一貫教育の推進(市長)</li> <li>○時代の要請への対応:インクルーシブ教育システムの構築、学習指導要領改訂に伴うICT環境の整備と活用、教職員の働く場としての機能向上</li> <li>○多機能化の推進:避難所としての防災機能強化、児童福祉施設などの公共施設との複合化</li> <li>○国の動向:国庫補助事業における採択基準の厳格化、学校施設の強靱化(耐震化・防災機能強化・老朽化対策)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○議会:教室及び屋内運動場(避難所)へのエアコンの設置、多目的トイレの設置、トイレの洋式化、防犯カメラの設置、防災用品の備蓄、大規模な改修工事の計画的な実施</li> <li>○小中学校校長会・教頭会:教室等照明のLED化、ICT環境の充実、特別教室へのエアコン設置、防犯カメラの設置、防災用品の備蓄、教職員の働き方改革に関する整備</li> <li>○PTA:特別教室へのエアコン設置、多目的トイレの設置、トイレの洋式化、ICT環境の充実、インクルーシブ教育への対応、防災用品の備蓄</li> <li>○保護者アンケート:来客用駐車場不足の解消、トイレ環境の改善</li> </ul>

**5 予算等の推移**

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
関連事業本数	7				
関連事業予算額(単位:千円)	626,249				
(予算額の内訳)	国庫支出金	38,348			
	県支出金	0			
	地方債	438,200			
	その他	0			
	一般財源	149,701			

(1) 目標達成度(目標値との比較)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> 目標より高い実績値だった <input type="checkbox"/> どちらかといえば目標より高い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標どおりの実績値だった <input type="checkbox"/> どちらかといえば目標より低い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標より低い実績値だった		○成果指標①②ともに、目標値の設定が令和2年度からであり比較できない。
(2) 時系列比較(どのように変化してきたか)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した		○成果指標①については、アンケート開始が平成29年度のため3カ年の経緯となるが、R1年度は前年度比0.4ポイントの減と若干が下がったものの、ほぼ横ばい状態となっている。 ○成果指標②については、指標の対象となる教育施設長寿命化基本計画第1次計画が令和2年度からとなっているため比較できない。
(3) 他団体比較(近隣他市、県・国との比較など)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い成果水準である <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である		○成果指標①②ともに、各団体により状況が大きく異なるため単純に比較できない。 ○平成23年度以降、校舎や屋内運動場等の整備を進めてきたこともあり、築後40年を越すような古い建物が全体に占める割合は全国平均の58%に対し本市は42%と低くなっている。また築後25年以上となる校舎等は全国平均75.5%に対し本市は61.3%と、ともに60%を超える数値となっているもの本市は全国より低い数値となっており、どちらかといえば高い水準にあるといえる。

7 基本計画期間における施策方針

(1) 施策の基本方針
○老朽化対策や機能向上、質的改善、防災機能強化などに係る施設改修等に計画的・継続的に取組み、教育活動に適した施設環境の確保を図る。 ○教育施設長寿命化基本計画の第1次実施計画(R2～6)に掲げる事業を円滑かつ確実に実施する。

8 施策の目標達成のための基本事業の今年度(R2年度)の取組(事務事業)状況・今後の課題と次年度(R3年度)の方針

基本事業	今年度(R2)の取組(事務事業)状況及び今後の課題	次年度(R3)の方針
1 老朽施設の保全と長寿命化の推進	・落合小学校大規模改造工事の実施。(3学期から校舎が使用できるよう、校舎の工事を年末までに終える。) ・白根百田小学校屋内運動場改修工事の実施。 ・大明小学校校舎屋上防水工事の実施。 ・若草小学校の改修について方向性の決定。	・落合小学校のグラウンド整備及び外構工事の実施。 ・若草小学校改修に向けた実施設計。
2 機能的で質の高い施設整備の推進	・市内全小中学校への教育系ネットワークの整備。 ・中学校6校(御勤使中学校を除く)特別教室41室への空調設備の設置。 ・学校屋内運動場の環境整備。(暑さ対策等)	・学校屋内運動上の環境整備について方向性を検討。
3 防災機能の強化と防犯力の向上	・防災担当と連携し、避難所としての屋内運動場の機能向上と環境整備を行う。	・防災担当と連携し、快適な避難所環境となるよう整備を進める。
4		
5		